

元気っ子しゅうごう

問 経営企画課広報統計係
☎95-9867

※4月1日(月)より秘書課広報統計係に変わります。

申し込み



左：石川 智之^{ともゆき}ちゃん

2023年3月6日生まれ

右：大陽^{ともはる}ちゃん

2020年12月29日生まれ

大陽くん、智之くん、
何時も、素敵な笑顔、
ありがとうね。兄弟、
明るく、楽しく、礼義
正しく、元気に育って
ね。パパ、ママ、じい
ちゃん、ばあちゃんも、
見守っています。

(天神町)



藤浦 咲絃^{えいと}ちゃん

2023年11月14日生まれ

お花が咲くように笑顔
いっぱいの咲絃に毎日
パパママは癒されてい
るよ！これからもたく
さんミルク飲んで大き
くなってね◎
生まれてきてくれてあ
りありがとう♡ (千福町)

すいすい水族館

クラゲの移ろい

問 海浜水族館 ☎48-3761

春は旅立ちと新たな出会いの季節ですね。碧南市の海でも、季節が変われば見られる生き物が変わります。今回は冬から春に見られるクラゲにスポットを当ててみましょう。

1月下旬頃から見られるのがカミクラゲ。外見が神々しいから「神クラゲ」ではなく、触手が髪の毛のように長く束になっているから「髪クラゲ」なんだとか。決して珍しいクラゲではありませんが、未だに繁殖方法が完全には判明していない不思議なクラゲです。カミクラゲは3月末～4月頃には姿を消してしましますが、入れ替わるように見られるのがアカクラゲやミズクラゲです。アカクラゲは赤い放射状の模様と長い触手が特徴のクラゲで、傘の直径が10cmを超えるような大きな個体は3月～5月頃に見られます。毒が強いので見かけても決して触らないようにしましょう。

最後に、3月～7月頃見られるのがミズクラゲです。寿命がクラゲの中では比較的長く、繁殖方法も確立しているので水族館におけるクラゲ展示の「定番」ですが、自然界では夏になり水温が高くなると姿を消してしまいます。時折大量発生することがあり、昨年は市内の水路でも無数のミズクラゲが観察された日がありました。

近頃では市内でも春の気配を感じられるようになってきました。外に出て海のそばを通ることがあれば、ぜひ足を止めて生き物を探してみてください。



藤まつりin広藤園

COVER

今月の表紙

「ひろの長藤」として江戸時代より市民に親しまれてきた藤棚「広藤園」にて、1,000平方mの敷地に立派な花房が広がる藤と芳香が楽しめます。表紙には、碧南3大花まつりインスタグラムフォトコンテスト2023にて準グランプリに輝いた一枚が掲載されています。今年も開催されますので、ぜひ応募してください。

